

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	モビリティサポートの推進経費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	河川局		担当課室	河川計画課河川情報企画室		室長 五道仁実
会計区分	一般会計		上位政策	総合的な国土形成を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	河川災害時において、現在は、河川管理者による氾濫情報等の提供、地方公共団体による避難場所情報等の提供が行われているが、現在位置から適切な避難所までの安全な経路案内を行うサービスは確立されていないため、ユビキタス技術※を活用し、災害時における現在位置と河川氾濫情報等を踏まえた避難所までの安全な経路案内の仕組みの提案を目的とする。 ※ユビキタス技術とは.. 情報通信の発達により「いつでも・どこでも」コンピュータを「遍在的に」利用できる環境を実現する技術					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	河川災害時における情報提供対象者(住民・観光客)に対する適切な情報提供の内容、河川管理者、地方公共団体、情報提供事業者等の適切な役割分担、適切な避難所までの案内経路を検索するための手法、利用者の操作性を考慮した情報を提供するための手法について検討する。					
実施状況	平成21年度は、 ・「河川災害時における提供情報の整理」として、河川管理者や地方公共団体における避難場所情報等の提供実態を整理した。 ・「河川災害時における適切な避難所までの安全な経路案内の仕組みの検討」として、河川管理者、地方公共団体、情報提供事業者等の適切な役割分担を整理し、利用者への情報提供手法の検討、避難場所・経路検索手法の検討を行った。 ・以上より、ユビキタス技術を活用した安全な経路案内を情報提供する仕組みを提案し、運用に向けた課題整理を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	3	-	-
	執行額	-	-	3		
	執行率	-	-	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	業務の契約額、支出先及び契約方式等を把握するとともに、業務の全体計画や進捗状況等について支出先との打合せ等により確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。				
	見直しの余地	今後においても調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。				
予算・監視・所効見率化	【事業廃止】 ユビキタス技術を活用し、避難場所までの安全な経路検索・案内を行う仕組みの提案など、本事業の内容は概ね終了し、一定の成果が得られたことから、廃止。 ただし、各種のマニュアル、指針、資料、手引き案、評価方法などが成果とのことであるが、このような資料がどの程度利用されて、政策目標を達成したかが真の成果ではないか。行政評価では、作成物はアウトプット、作成物の効果をアウトカムと呼称するが、政策評価は操作不可能なアウトカム指標で測定するべきと考える。					
補記	【予算科目】 ・326 国土形成推進費 ・05-95 総合的な国土形成の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2123-09 国土形成推進調査費 3百万円 3百万円					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

国土交通省
3百万円

河川に関する情報等の収集、
処理及び提供に係る企画・立案等



A. 国土交通省国土計画局
3百万円

モビリティサポートサービスの普及
展開に係る企画・立案等



【企画競争】

B. (財)河川情報センター
3百万円

河川災害時における提供情報の整理、
適切な避難所までの安全な経路
案内の仕組みの検討等

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 国土交通省国土計画局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	モビリティサポートの推進経費	3			
計		3	計		0
B. (財)河川情報センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	河川災害時における提供情報の整理、適切な避難所までの安全な経路案内の仕組みの検討等	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0